



第16回大会報告	p. 1
第16回大会を終えて	
小野 道子	p. 2
第18回総会報告	p. 2
役員の改選報告	p. 3
総会・決算報告	p. 3-4
機関誌 No.15 の送付	p. 4
機関誌 No.16 原稿募集	p. 4
事務局からのご連絡	p. 4

東洋大学 社会福祉学会

第16回大会報告

大会テーマ「反抑圧的ソーシャルワーク (AOP) の理論と実践」

2022 (令和4) 年8月7日 (日)、東洋大学社会福祉学会第16回大会が東洋大学白山キャンパス (125 記念ホール: 8 号館7階) にて開催されました (オンライン併用)。大学院生・卒業生や、学外から多くの参加があり、盛況のうちに終了しました。

まず、「博士号取得者による研究報告」として、下記の3名が発表を行いました。

1. 清水 冬樹会員
『中高生世代の子どもへの社会福祉支援に関する研究～東日本大震災における子ども参加を手がかりにして～』 (社会福祉学)
2. 橋本 理子会員
『埼玉県における社会事業形成に関する地域福祉史研究』 (社会福祉学)
3. 麗 麗会員
『中国・内モンゴル自治区農牧地域における農村留守児童への支援に関する研究～農村寄宿制学校の子どもの調査を手がかりにして～』 (社会福祉学)



清水冬樹会員



橋本理子会員



麗麗会員



学会当日の会場

次に、「反抑圧的ソーシャルワーク (AOP) の理論と実践—日本のソーシャルワークへの可能性と課題—」をテーマに、茨木尚子氏 (明治学院大学社会学部社会福祉学科教授) による基調講演が行われました。

基調講演に続くシンポジウムでは、岡安朋子会員 (社会学部社会福祉学科助教) および小野道子会員 (社会学部社会福祉学科准教授) が登壇し、茨木尚子氏 (明治学院大学社会学部社会福祉学科教授) と森田明美会員 (東洋大学名誉教授) をコメンテーターに迎え、伊奈川秀和会員 (社会学部社会福祉学科教授) ・佐藤亜樹会員 (社会学部社会福祉学科准教授) を司会として、活発な議論が展開されました。

今大会は、学会年次総会終了後 13 時より 17 時まで、東洋大学白山キャンパスの 125 記念ホールで開催されました。4 時間という短い時間ではありましたが、博士学位取得者 3 名による報告、茨木尚子氏による基調講演、本学新任教員 2 名による研究報告を含めたシンポジウムの開催という内容の詰まったものでした。コロナ禍で 2020 年度大会は延期、2021 年度大会はオンライン開催のみの実施でしたので、2018 年度大会以来の対面開催(オンラインも併用)となりました。久しぶりに顔を合わせた学会員との旧交を温め、新会員との新たなネットワークをつくる機会となったのではないかと思います。

博士学位取得者による報告は、2022 年 3 月に福祉社会デザイン研究科において社会福祉学博士号を取得された 3 名の方々から、博士課程の集大成である博士論文の内容を紹介いただきました。お一人 15 分という短い時間にもかかわらず、日本と中国の子ども支援、埼玉県の子どもの地域福祉史についての大変充実した発表内容でした。

基調講演では、『脱「いい子」のソーシャルワーカー反抑圧的な実践と理論』(現代書館 2021 年)の共著者である茨木氏より、反抑圧的理論(Anti-Oppressive Practice: AOP)の理念や方法論の紹介、AOP を日本のソーシャルワークの現場に導入することの意義や課題についてご講演いただきました。様々な分野のソーシャルワークの現場で日々実践や研究をおこなっている学会員が、今後も自分自身のソーシャルワークとの向き合い方について考えるための貴重な問題提起をいただきました。

シンポジウムでは、「多職種連携を促進する校内システム構築—スクールソーシャルワーカーの実践より」(岡安会員)と「パキスタンにおける「路上」で働く「ベンガリー」の子どもの安全保障—AOP の視点から考える」(小野)という二つの研究報告と、『AOP から考える学校や学校外の子ども支援』を共通テーマとした活発な議論が行われました。コメントーターの茨木氏と森田会員からは、それぞれの専門分野である AOP と子ども支援の視点から、日本とパキスタンの子ども支援の事例を通して AOP の実践についての理解が深まるコメントをいただきました。報告者の今後の研究の方向性についての示唆に富んだご意見もいただくことができました。

最後になりましたが、大会担当理事の役目を仰せつかりながら、大会初参加のため十分な責任を果たせず、関係の皆様のご協力がなければ今大会を無事に終えることができなかつたと思います。伊奈川会長、佐藤事務局長、財務担当の藤木理事、HP 担当の小櫃理事、福祉社会開発研究センターの皆様方には、準備の段階から多くのご尽力をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。



茨木尚子氏



森田明美会員



小野道子会員



岡安朋子会員



シンポジウムの様子

第 18 回総会報告

東洋大学社会福祉学会 第 18 回総会が、第 16 回大会の同日 12 時より 125 記念ホール(8 号館 7 階)にて開催されました。審議結果及び報告事項は下記の通りです。

- (1) 会員数 182 名(2022 年 3 月現在)
- (2) 2021 年度事業及び会計報告、2022 年度事業計画案及び予算案について
 総会では、2021(令和 3)年度事業報告として、ニュースレターの発行(年 3 回)、東洋大学社会福祉学会第 15 回大会開催(2021 年 8 月 21 日)、機関誌『東洋大学社会福祉研究』第 14 号(2021 年 12 月)の発刊が報告されました。合わせて 2021 年の決算報告が行われ承認されました。
 引き続き、2022(令和 4)年度の事業計画案(機関誌『東洋大学社会福祉研究』第 15 号の発行、ニュースレター(年 3 回)の発行、東洋大学社会福祉学会第 16 回大会(2022 年 8 月 7 日)開催)が提示され、承認され、事業計画に基づく予算案が承認されました。
- (3) 役員の改選報告が行われました。新役員体制については、次ページに記載の通りです。

役員の改選報告

役員（顧問）	坂口順治先生・天野マキ先生・古川孝順先生
会長	伊奈川秀和（本学教授）
事務局長	佐藤亜樹（本学准教授）
会計監事	熊田博喜（武蔵野大学教授）
理事（研究大会担当）	小野道子（本学准教授）
理事（機関誌担当）	戸井宏紀（本学准教授）
理事（同窓会担当）	後藤広史（立教大学教授）
理事（同窓会担当）	相馬大祐（福井県立大学准教授）
理事（学会ニュース担当）	岡安朋子（本学助教）
理事（学会ニュース担当）	洪心璐（本学実習助教）
理事（財務担当）	藤木（越前）聡美（本学実習助教）
理事（HP担当）	小櫃俊介（一般社団法人ORINAS代表理事）
理事	藪長千乃（本学教授）

決算報告

2021年度 決算

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越金	2,379,958		第15回大会運営費	30,358	
			（内訳）	18,810	第15回運営費テーブル起こし
				393	第15回大会お水代
年会費	239,000			1,155	第15回大会登壇者昼食代
				10,000	第15回大会登壇者お車代
過年度会費納入	72,000		機関誌費	170,962	第14号 印刷・製本
翌年度以降会費納入	33,000				
			学会事務費	214,924	
			（内訳）	67,200	人件費（データ編集、ニュースレター発送作業等）
学会誌販売、郵送料	22,200			141,124	郵送関連費（ニュースレター、学会誌、書面控会等）
				6,600	学会HP維持費
			払込手数料	2,860	
小計	2,746,158		小計	419,104	
次年度繰越金	2,327,054				

2022年度 予算

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越金	2,327,054		第16回大会運営費	75,000	花代、茶菓子代、印刷代等
年会費	338,000	1,000 × 24			
過年度会費納入	25,000	2,000 × 157	機関誌費	250,000	印刷代、製本代
			学会事務費	81,240	
				15,000	人件費（ニュースレター発送作業アルバイト）
				50,000	郵送・配達料（ニュースレター、学会誌、査読関連他）
				3,240	学会HP管理費
				10,000	事務消耗品
				3,000	雑費（振込手数料等）
小計	2,690,054		小計	406,240	
次年度繰越金	2,283,814				

◆特別会計

2021年度 特別会計決算

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越金	752,712				
小計	752,712		小計	0	
次年度繰越金	752,712				

2022年度 特別会計決算

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越金	752,712				
小計	752,712		小計	0	
次年度繰越金	752,712				

機関誌『東洋大学社会福祉研究』 No.15 の送付

機関誌『東洋大学社会福祉研究』No.15を2022年7月に発刊しました。2021年度シンポジウム、学位取得者論文要旨、学会活動報告、投稿規定、執筆要領などを掲載しています。年会費納入済みの会員で第16回大会の欠席者には、本ニュースレターと一緒に、本機関誌No.15を送付しています。

機関誌『東洋大学社会福祉研究』 No.16 原稿募集

機関誌『東洋大学社会福祉研究』No.16の原稿を募集しています。**投稿の締切は「毎年3月末」**です。投稿規程・執筆要領は学会誌No.15をご参照下さい。掲載は、査読を行った上で、編集委員会を経て決定いたします。奮ってご応募下さい。

投稿についてご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

事務局からのご連絡

- (1) 年会費の納入について：2022年度の会費納入（一般会員2,000円、院生会員1,000円）をお願いします。今回同封した郵便局振込取扱票をご利用いただくか、以下までお振り込みください。
郵便振替 口座番号：00130-5-260970 加入者名：東洋大学社会福祉学会
※2021年度以前の会費が未納の場合は、過年度分の会費のお支払いをお願いいたします。
なお、3年間以上滞納の場合は、理事会の議を経て会員の資格がなくなることがあります。
- (2) 学会機関誌は、年会費の納入のあった会員に配布しております。
- (3) 住所（ご自宅）・勤務先の変更、ご意見・ご要望等は、事務局までご連絡をお願い致します。
- (4) Eメールアドレスの情報提供について：今後学会からのお知らせ等をメールでお伝えしたいと考えています。Eメールアドレスの情報提供をお願い致します。つきましては、下記までお名前、ご所属、Eメールアドレス等をご記載の上、ご返信ください。**HP上にGoogleフォーム、QRコードを記載しているのでそちらもご活用ください。**

<https://onl.bz/CNvwzAC>



【事務局連絡先】 〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学社会福祉学会事務局
佐藤亜樹 Tel: (03) 3945-8236, Email: sato048@toyo.jp